

# 「イソベっちの、前へ前へポッポー！」

2011年6月26日(日曜)

ゲスト: 伴一郎さん(平成OSAKA天の川伝説2011 運営委員会実行委員長)

第12回の「のびのびさん」は、平成OSAKA天の川伝説2011、運営委員会実行委員長の、伴一郎さんです。

Q. 平成OSAKA天の川伝説とはこういったイベントですか？

大阪の天満は星がいっぱいみつる場所という意味で“天満”と言われていました。大阪天満宮ができる前から星を祀っており、“星合池”“明星池”“七夕池”など七夕伝説の池もたくさんありました。そこで七夕の日に、天満橋から淀屋橋にかけて5万個のLEDによる光の球を流して、大阪の川に天の川を出現させようと考えたイベントです。

Q. このイベントをやろうと思ったキッカケは？

昔、大阪の川は汚かったのですが、今はこの5、6年間で天然のアユやスズキが釣れるぐらいキレイになりました。ちょうどイベントをするのにいい時節が来たということと、東から西に流れる大阪の川は日本全国でも珍しく、夕日が映る川なので、夕方から賑やかになるような夕方文化を盛り上げていきたいというのがキッカケです。

Q. 日々いろんなことを考えておられる伴さんですが、他に考えておられるイベントはありますか？

大阪城が80周年を迎えます。将来は通常のライトアップだけではなく、大阪城が真っ赤にメラメラと燃えているような光をつけて見せたいですね。

Q. たくさんの方が集まってくる街にしたいですね。

みやげ話を作るのが江戸時代の大阪でした。例えば“なにわ橋”にはライオンの石像が4体あります。これは昔、そこから見たら大阪の橋が16本見えました。つまり $4 \times 4 = 16$  (獅子16)。このようなみやげ話を作って、たくさんの方が大阪に来てくれると嬉しいです。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「ええかげんがちょうどええ」

あまり肩肘張らず、心を解き放して見ると全体が見えてくると思います。

ありがとうございました。